
家づくりのスタートは、情報を集めることから

家を建てる決心が固まったなら、さっそく情報収集に取りかかりましょう。

とはいえ、初めて家を建てるという人は、何をどうしたらいいのか戸惑ってしまいますよね。ここでは情報収集のポイントをわかりやすく簡潔にお話しします。

注文住宅、建売住宅、マンション、スマートハウスなど、住まいにはいろいろなタイプがありますが、共通して言えるのは、そこでどんな暮らしがしたいのか、新しい家にどんな価値を得たいのかをよく検討して、家に対するこだわりをはっきりとさせておくことが大切です。この「こだわり」の部分が揺らいでしまうと、家づくりはスムーズにすすみません。また、そのこだわりを建築会社にきちんと伝えることで、イメージを共有でき、あなたの理想に近い、家づくりにつながります。

情報収集は、カタログや雑誌のほか、最近ではインターネットでさまざまな情報を手に入れることができるようになりました。家のイメージや建築会社の選び方、建てた人の体験談、果ては器具や設備を自分で手に入れることができると、サイトにまで、その情報量は膨大です。しかし、情報量が多いがゆえに、それに振り回されてしまい、方向性を見失う人も少なくありません。自分に必要な情報と、そうでない情報とを振り分けるためにも、やはり、自分自身のこだわりはつきりさせておきたいものです。

インターネットは、家にいながらにして多くの情報を得ることが出来る便利なツールです。大手のハウスメーカーはもちろん、地元工務店や不動産会社でも、今はほとんどの会社でホームページを持っているので、その会社が手がけた住宅の様子や雰囲気を確認しておくきましょう。ホームページから資料請求できる場合も多いので、気になったところがあれば、積極的に資料を請求してもかまいません。現場見学会や内覧会などからも、旬の情報を得ることもできます。

よりイメージを高めるためには、実際に住宅展示場やモデルハウスに足を運ぶことも必要でしょう。ここでは、立体的な家のイメージがわかるほか、営業マンから具体的な話を聞ける場合もあります。対応によってその会社の雰囲気もわかるので、厳しくチェックしておきましょう。

こうして情報を集めていくことにより、あなたの家づくりへのこだわりが明確になり、具体的にプランを考えていくことができます。時にはこだわりを直さなくてはならないこともあるかもしれませんが、これも、あらかじめ自分のこだわりに対するイメージをはっきりさせてあるからこそ、できることなのです。

「早く形にしたい」と、気持ちが前のめりになってしまいがちですが、理想の住まいを手に入れるためにも、情報収集にはじっくりと時間をかけておきたいものです。



家ができるまでのスケジュールをおさらい

ではここで、家づくりの大まかな流れをチェックしておきましょう。

家を建てる目的やイメージ、こだわりをしっかりと確認したら、いよいよ本格的な家づくりに向けて動きはじめます。

住宅のタイプによって流れは若干異なりますが、注文住宅であれば、土地から購入するというケースも多いでしょう。土地は、不動産業者の仲介によって購入するほか、建築を依頼するハウスメーカーや工務店をとおして購入する場合もあります。ただし、支払いには注意が必要です。ローンを利用する場合は、土地と住宅で別々にローンを組んだり、「つなぎ融資」などを利用しなくてはならないなど、後々の返済計画を大きく左右する場合がありますので、利用する金融機関で確認するようにしましょう。

土地が決まれば、いよいよ建築業者や設計士と家のプランを考えていきます。

建築確認の申請後は、プランを変更することが難しいので、この段階で、きちんと自分のこだわりが反映されるよう、綿密な打ち合わせをすることが肝心です。十分な話し合いを重ね、夢の設計図の完成です。

建築工事に入る前には、たいいていの場合、地鎮祭（土地の神様を祈願する儀式）が行われます。その後、土台となる基礎工事を行い、その上に家の骨組みをつくっていくきます。本来、このタイミングで骨組が無事にできあがったことを祝う、上棟式をするのですが、最近では、省略する場合も少なくありません。工事にかかわる職人さんとの顔合わせという意味もあるので、できれば済ませておいた方が無難です。

また、通常であれば、工事だけでも3〜4か月かかります。後々トラブルを防ぐという意味でも、建築会社と一緒に近隣へのあいさつ回りもおきましよう。

上棟式が終われば、屋根工事、壁や建物内部の造作工事、内装や設備の工事